

八幡平市清掃センター等管理運営委託事業
事業契約書調印式



行政集中改革プラン

2年間で

約9億3千万円の 経費節約効果を達成

市は、18年12月5日に策定した行政集中改革プランに基づいて、より効率的な行政サービス実現のため、さまざまな取り組みを行ってきました。これにより、2年間で約9億3千万円の行政経費削減効果を実現することができました。今回は、市の行政改革についての取り組みのあらましを紹介します。

行政集中改革の実行で
約9億円の経費節約

市は、17年9月1日に合併したことで、国から地方交付税の優遇措置などの財政支援を受けていますが、地方財政を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、更なる行政改革が求められています。

市の財政状況については、広報はちまんたい10月2日号で19年度決算とともに実質赤字比率や実質公債費比率など5指標を紹介しました。こうした財政の健全性を示す指標を良くするためには、行政改革が不可欠です。

この改革の進行を具体的に把握するため、行政集中改革プランでは、18年度から21年度までの期間を定め、税金の滞納対策や人件費削減など、個別の項目について具体的な目標を挙げて取り組みを実施。決算が認定された18年度から19年度までの2年間に、合計約9億3千万円を達成しました。

●表1 歳入の増加

取り組み項目	全体計画 (H18~21)	計画額 (H18~19)	実績額 (H18~19)
税金などの滞納対策	1億4,000万円	5,000万円	9,918万円
利用していない財産の売り払い	1億4,475万円	8,027万円	3,546万円
その他の滞納整理	3,019万円	1,020万円	1,379万円
上水道事業	2,976万円	744万円	561万円
下水道事業	2,919万円	845万円	3,045万円
西根病院	1,100万円	550万円	2,035万円
その他(給食費の自然減など)	-2,088万円	-431万円	-1,351万円
合計①	3億6,401万円	1億5,755万円	1億9,133万円

●表2 歳出の削減

取り組み項目	全体計画額 (H18~21)	計画額 (H18~19)	実績額 (H18~19)	
人件費削減	職員削減、清掃センター・柏台出張所の見直し	10億3,203万円	3億4,001万円	3億5,418万円
特殊勤務手当削減	税務手当などの廃止	624万円	312万円	312万円
普通建設事業	学校給食センターの統合による経費、柏台出張所廃止による代替措置	-1,250万円	-1,250万円	-3,349万円
物件費	学校給食センターの民間委託、内部経費の削減、未利用地の整理など	8億1,403万円	1億5,389万円	1億6,539万円
維持補修費	清掃センターの民間委託	152万円	51万円	0万円
補助費	常備消防の再編、清掃センターの民間委託など	5億9,279万円	1億1,849万円	1億2,502万円
繰り出し金	一般会計から他会計への繰り出し金	4,500万円	2,100万円	1億2,430万円
合計②	24億7,911万円	6億2,452万円	7億3,852万円	
総計(①+②)	28億4,312万円	7億8,207万円	9億2,985万円	

※ マイナス表示は、表1では収入の減少、表2では支出が増えたことをそれぞれ示します

**税金滞納対策などに
取り組み収入を確保**
収入増加対策としては、税金などの滞納対策や利用していない市有財産の売却など、上の表1に掲げた7項目を掲げて取り組みを行いました。最も大きな効果を挙げたのは、税金などの滞納対策で9918万円。次いで大きかったのは、市の未利用財産の売り払いの3546万円です。景気や土地需要の低迷などもあり、計画よりやや低めの売却額となりました。

これらの結果を総合すると、18・19年度の目標を約3千万円上回る1億9133万円の収入向上となりました。

**職員数など削減して
目標以上の経費節約**
行財政改革において重要な位置を占める、支出の削減においては、表2のとおり7項目を中心に取り組みを進めました。

歳出削減額が最大となったのは、人件費の削減です。市の職員の数を減らすことで、3億5418万円を節約することができました。そのほか、事務経費などを抑えて1億65

39万円、広域事務組合の負担金などの削減で1億2430万円をそれぞれ節約することができました。

これらを合計すると、2年間で7億3852万円の節約となり、目標より1億1千万円ほど多い効果を挙げることでできました。

**改革を進め効率的な
行政サービス提供を**
18・19年度の収入向上と支出削減の取り組みにより、合わせて9億2985万円の経費節約となりました。一部には、給食センターの統合に伴い、備品などの整備が必要となったことから、経費が増加した項目もありましたが、18・19年度の計画を約1億4千万円上回り、全体としては着実に取り組みが進んでいるところです。

市は、今後も行財政集中改革プランに基づいて、さらに経営の効率化へ向けた取り組みを推進。住民・地域と行政が連携・協働してまちづくりをすることで、足腰の強い行政基盤の確立を目指します。

次ページで、それぞれの取り組みの詳細について紹介します。

2 税金・保育料など 滞納対策

差し押さえ・公売など、滞納処分
を行って滞納額を減らします。

市 税は、市の地域づくりや福祉などの行政サービスを支える基本的な収入源です。これまで税金の滞納整理は、職員が滞納者の家庭を個別に訪問して集金する臨戸徴収を基本にしてきました。しかし、分納誓約を守らないなどの悪質な滞納者が後を絶たないことから、差し押さえなど法的手段に基づいた滞納処分を実施しています。

市は、19年度に動産・不動産を242件差し押さえ、動産の一般公売を2回、インターネットを通じた公売を1回行



差し押さえ資産の公売を行っています

いました。こうした滞納処分の取り組み強化により、前年度と比較して約27割多く滞納繰越分の税金を徴収することができました。

また、保育料や給食費についても、保護者に保証書の提出を求めたり口座振替を増やすなど、滞納が発生しないよう対策を実施。加えて、裁判所を通じて支払いを求めるなど、滞納対策を進めています。

こうした対策と平行して、滞納は経済的な事情から納付が困難になるなど、さまざまな原因で発生することから、個別に相談を受け付けています。分割での納付など、過大な負担にならないような方法もありますので、それぞれの担当課へ問い合わせください。

1 市職員削減と 定員管理の推進

合併に伴う組織見直しなど、業務
効率化で職員定数を削減します。

18 19年度で、38人の市職員が定年などで退職しましたが、新採用を19人に抑え、職員数を削減しました。

21年4月までに市職員全体の14割に当たる65人を削減することを目標に掲げ、取り組みを進めています。合併効果を最大限に活用して組織をスリム化するとともに、市民ニーズを的確に捉えて質の高い行政サービスを提供するため、研修などを通じて職員の意識改革を実施。職員が減少しても市民サービスが低下しないよう、改革を進めます。

3 民間委託推進など 行政経営の効率化

給食調理など、市直營業務を見直
して民間の力を活用します。

給 食調理やごみ処理など、市直営で行っている業務の中には、民間の力を活用する方が効率的な経営が可能になるものがあります。市は、こうした業務について見直しをすることで、行政サービスの効率化に取り組んでいます。

19年度に、西根地区学校給食センターの調理部門を民間に業務委託しました。また、松尾地区の給食調理を西根地区センターで行うため19年度に給食用コンテナプールや配送車の整備を実施。20年度から機能を統合し、施設管理経費

を削減することができました。ごみ処理業務の民間委託については、広報はちまんたい11月6日号でお伝えしたように、21年度から民間委託するため、現在は引き継ぎなどを行っています。

市は、今後もこうした行政改革に積極的に取り組み、効率的な行政サービスを提供します。

詳しくは、市企画総務部総合政策課(☎76-2111、内線1223)まで。



民間委託などで行政サービスを効率化



歳出43億387万円を認定

介護が必要なお年寄りなどを社会全体で支える介護保険制度は、盛岡北部行政事務組合が3市町(八幡平市、葛巻町、岩手町)共同で運営しています。同組合の議会が10月24日に開催され、19年度の介護保険特別会計の決算が認定されました。

19年度の歳入は45億4,382万円でした。歳入のトップは支払基金交付金の12億8,334万円で、全体の28.2%を占めています。65歳以上の人が納めた保険料は7億4,497万円(16.4%)となりました。歳入の内訳は、グラフ1をご覧ください。

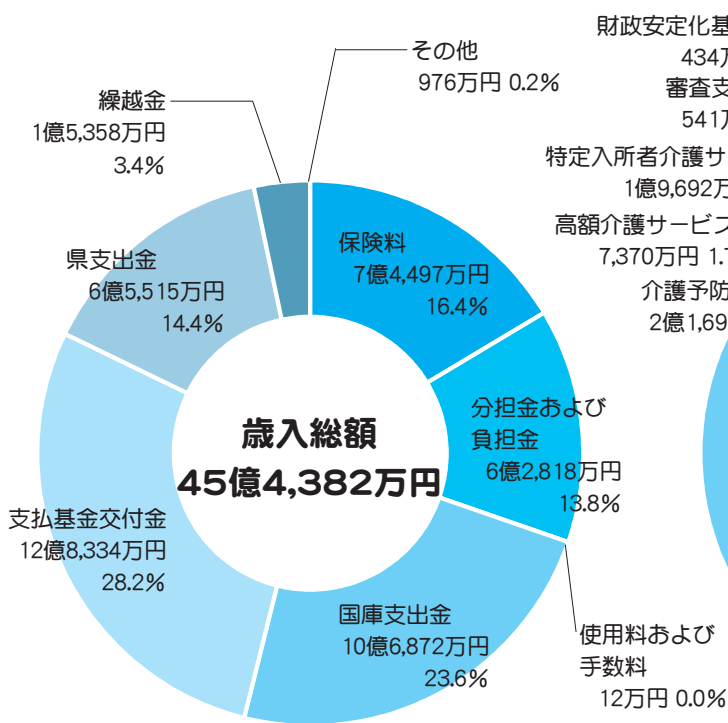
歳出の総額は43億387万円でした。このうち、居宅

介護サービス費(30.6%)、施設介護サービス費(51.9%)、介護予防サービス費(5.0%)、高額介護サービス費(1.7%)、特定入所者介護サービス費(4.7%)、審査支払手数料(0.1%)を合わせた「保険給付費」が全体の94.0%を占め、40億4,305万円となりました。歳出の内訳は、グラフ2のとおりです。

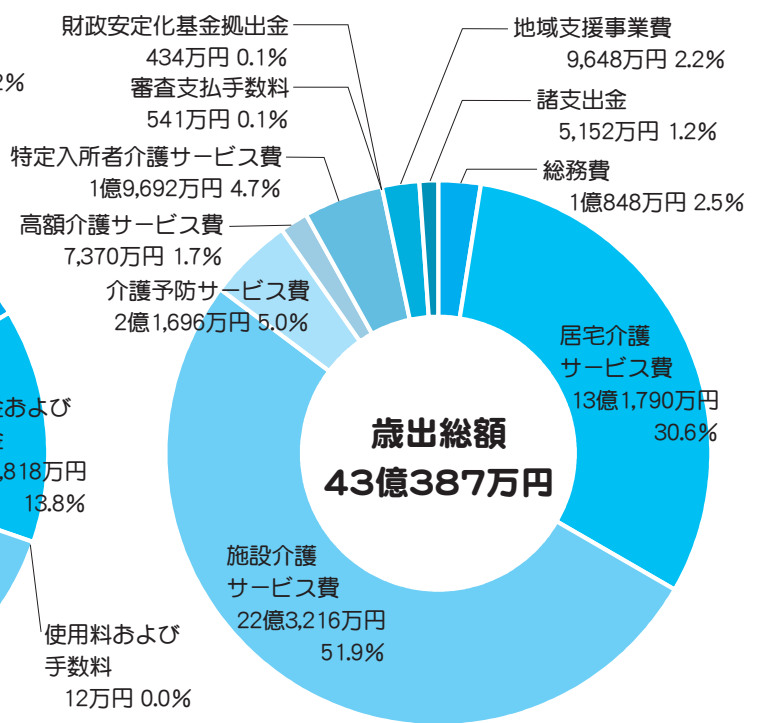
また、盛岡北部行政事務組合管内の要介護・支援認定者数など、介護保険事業の概要は表1のとおりです。

介護の相談などは、市生活福祉部長寿社会課(☎76-2111、内線1186)または盛岡北部行政事務組合(☎74-2716)まで。

●グラフ1 歳入の内訳



●グラフ2 歳出の内訳



●表1 平成19年度介護保険事業の概要(20年3月末現在)

(単位:人)

市町名	高齢者数	要介護・支援認定者数								サービス利用者数				サービス費用(給付費)
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	居宅介護	地域密着	施設介護	合計	
八幡平市	9191	159	188	216	313	248	199	235	1558	807	24	410	1241	22億2326万円
葛巻町	2863	59	90	79	103	77	64	56	528	296	2	116	414	6億5147万円
岩手町	4858	55	81	131	177	122	105	117	788	421	42	206	669	11億6832万円
組合合計	16912	273	359	426	593	447	368	408	2874	1524	68	732	2324	40億4305万円

※高齢者は65歳以上を表します

冬がやってきました

除雪に理解と協力を



【民間除雪サービス表】

住宅周辺、生活私道の除排雪料金

機種	除雪車の規格	作業単価 (10分)	移動単価 (10分)
ホイルドーザ車(排土板) ※()は排土板の大きさ			
小型	3ト(0.4立方㍎)	1,960	1,560
	4ト(0.5~0.6立方㍎)	2,010	1,600
	5ト(0.8~0.9立方㍎)	2,100	1,680
中型	7ト(1.2立方㍎)	2,450	1,960
	8ト(1.3~1.4立方㍎)	2,520	2,010
	9ト(1.5~1.7立方㍎)	2,850	2,200
大型	13ト(2.7立方㍎)	3,950	3,100
	16ト(3.0~3.2立方㍎)	4,500	3,600
ロータリー車(乗用タイプ)			
小型	30馬力以下	2,270	1,810
	30~40馬力	2,650	2,100
中型	72~85馬力	2,950	2,300
	120~130馬力	4,800	3,800
大型	175~180馬力	6,000	4,800
ロータリー車(手押しタイプ)			
小型	10~11馬力	1,170	930
	12馬力	1,320	1,060
	15~16馬力	1,380	1,110

※申し込みは市建設協同組合(☎70-2211)まで。
なお、表はいずれも標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度により変更になる場合があります。

市は、冬期間の降雪が市民の皆さんの日常生活や事業活動などの支障にならないよう、市の管理する道路などの除雪を行っています。

除雪作業に理解を

除雪には朝の通勤・通学路を確保する役割もあるため、降雪量によっては早朝から除雪作業を行うことが多くなりがちです。除雪車のエンジン音や作業による振動が皆さんの睡眠を妨げる場合もありますが、市民生活を確保するために、ご理解をお願いします。

宅地周辺は協力を

除雪車が通った後の玄関先などには、除雪しきれなかった雪の山が残ります。車が出せないなどの声が寄せられませんが、大型の除雪車で除雪を行っているため、細部の作業は困難となります。玄関先など宅地内の除雪は、各家庭で行ってくださいますようお願いいたします。

民間の除雪サービス

八幡平市建設協同組合では、

個人や事業所から有料で生活私道や宅地周辺などの除雪を請け負うサービスを行っています。除雪車の規格ごとの料金などは左の表を参考にしてください。

なお、これは標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度などによって料金が変更になる場合がありますので、注意してください。

除雪サービスについて詳しくは、市建設協同組合(☎70-2211)、市道の除雪などについて詳しくは、市産業建設部建設課(☎76-2111、内線1334)まで。

長年の功績をたたえ表彰

社会福祉表彰

第40回岩手県老人クラブ大会は10月22日、盛岡市都南文化会館で開かれ、社会福祉の向上に功労のあつた人などを表彰しました。

市からは、老人クラブ連合会の役員などを歴任した、市老人クラブ連合会会長の瀬川清悦さん(大更)の長年にわたる功績が高く評価され、知事から社会福祉表彰を受賞しました。



社会福祉表彰を受賞した瀬川さん



農山漁村いきいきシニア活動奨励賞を受賞した立花さん

農林水産省では、農山漁村地域でいきいきとしたシニア活動をしている人などを表彰しました。

市からは、地域の特産品の開発、郷土料理の研究、農産加工品の販売による地域の高齢者の生きがいづくりに取り組む、立花栄子さん(星沢)の長年の活動が高く評価され、農山漁村いきいきシニア活動奨励賞を受賞しました。

いきいきシニア活動表彰

教育功労者表彰

「いわて教育の日」記念行事は11月5日、岩手県民会館で開かれ、社会教育の振興に功労のあつた人などを表彰しました。

市からは、婦人団体の役員や社会教育委員などを歴任した、川村サトさん(野駄)の長年にわたる功績が高く評価され、県教育委員会委員長から社会教育功労者表彰を受賞しました。



社会教育功労者表彰を受賞した川村さん

除雪作業が困難な人の相談を受け付けます

■住宅周辺などの雪かき(屋根など危険な場所は除く)

地区名	連絡先	内容
松尾地区	市社会福祉協議会本所(☎74-4400)	○松尾地区スノーバスターズ(無料) 民生委員の調査で除雪対象世帯を事前に選定し、原則週末に実施
安代地区	市社会福祉協議会安代支所(☎72-2811)	○安代地区スノーバスターズ(無料) 除雪対象世帯を事前に選定し、12月から3月までの日曜日に実施
市内全域	市シルバー人材センター(☎64-1511)	○住宅周辺の除雪 1時間：1,080円(交通費別途)

■屋根の雪おろし、住宅排除雪

地区名	連絡先	内容
市内全域	市建設協同組合(☎70-2211)	○屋根の雪おろし(作業員1人) 1時間 2,000円～ ○住宅排除雪 2トナ車(1時間) 3,125円～ 4トナ車(1時間) 3,500円～ 10トナ車(1時間) 4,375円～

市は、除雪作業が身体的に困難な人(一人暮らし老人、高齢者夫婦世帯、障害者世帯など)のため、市社会福祉協議会、市シルバー人材センター、市建設協同組合と協力して、相談窓口を左の表のとおり設けました。雪かきを依頼したい場合は、各窓口へ相談してください。

■その他の相談窓口

- 西根地区 市生活福祉部地域福祉課(☎76-2111、内線1165)
- 松尾地区 松尾総合支所地域振興課(☎74-2111、内線2103)
- 安代地区 安代総合支所地域振興課(☎72-2111、内線3112)、田山支所(☎73-2030)